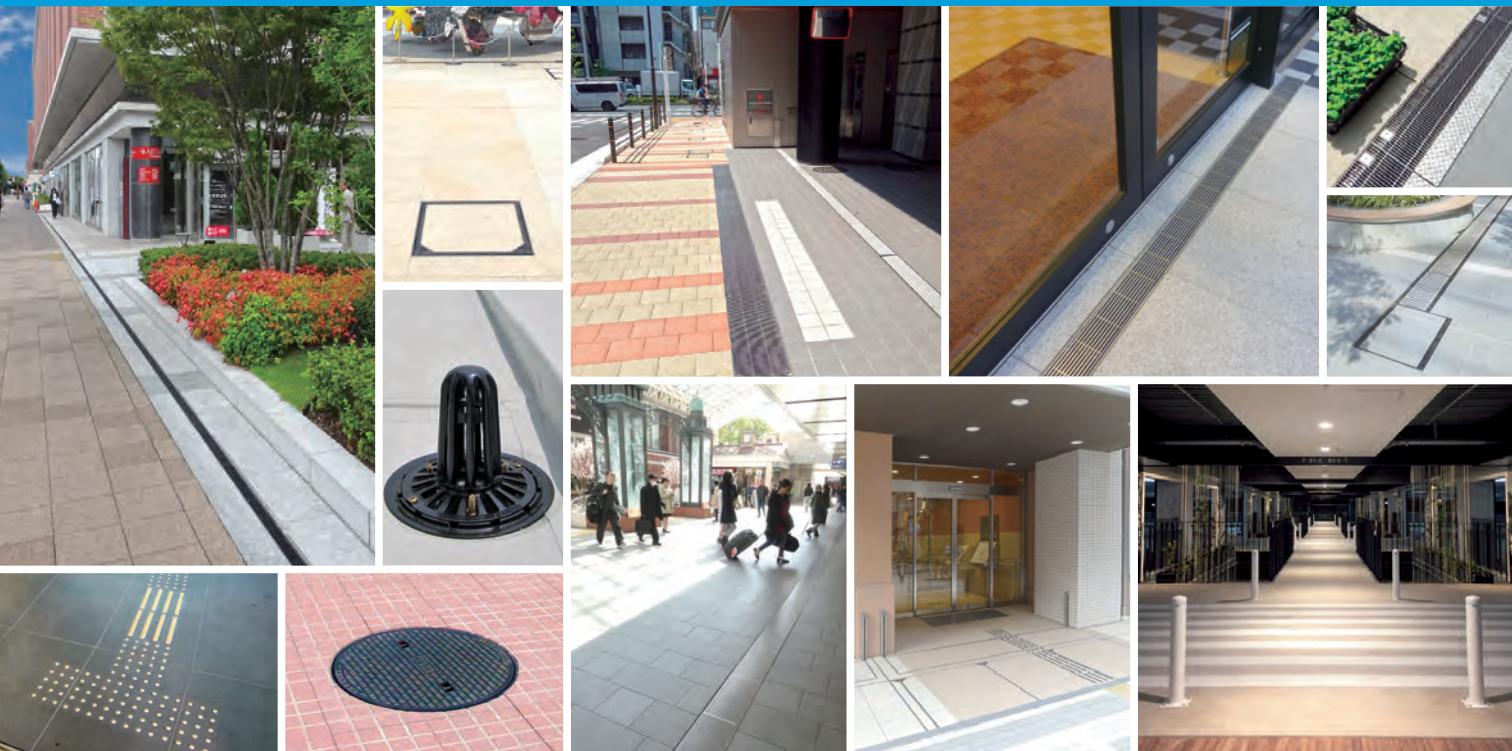


カネソウ株式会社

# 第41期 報告書

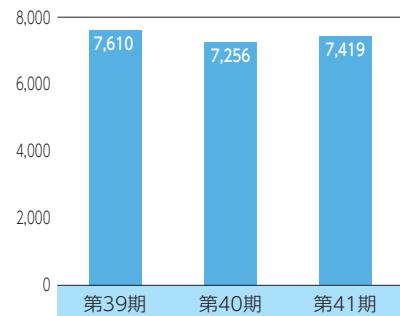
平成29年4月1日 ▶ 平成30年3月31日

証券コード ● 5979

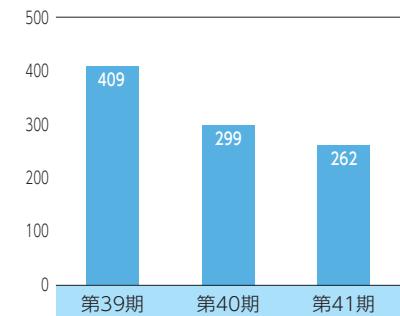


# 財務ハイライト

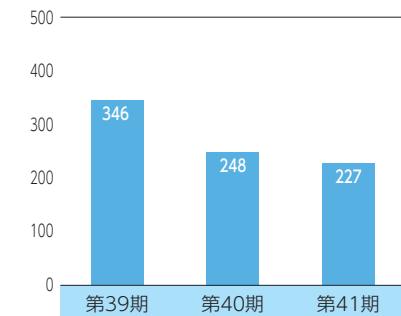
売上高 (百万円)



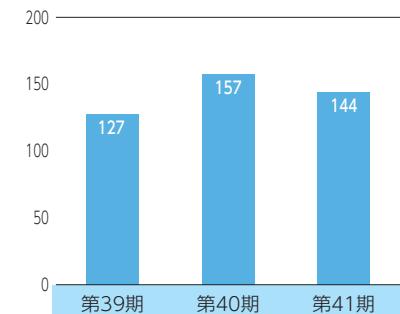
営業利益 (百万円)



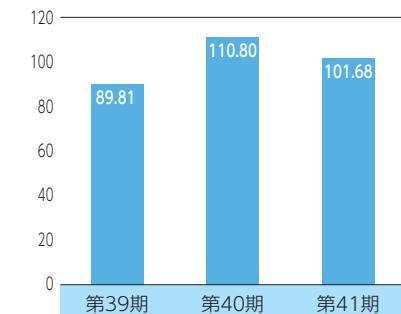
経常利益 (百万円)



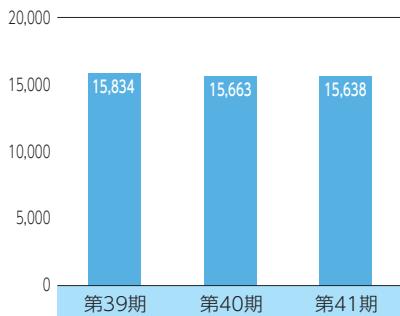
当期純利益 (百万円)



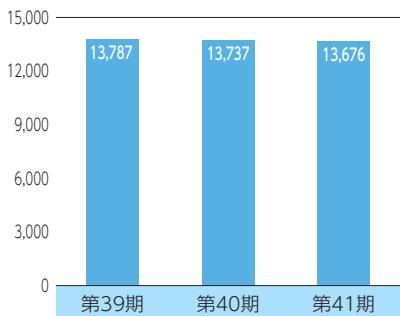
1株当たり当期純利益 (円)



総資産 (百万円)



純資産 (百万円)



1株当たり純資産 (円)



(注) 平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。1株当たり当期純利益金額及び1株当たり純資産につきましては、第39期の期首に当該併合が行われたと仮定して表示しております。



株主の皆様には、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社第41期(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)の事業の概況等をご報告申し上げます。

平成30年6月

代表取締役社長 近藤 健治

## ■事業の経過及び成果

当期におけるわが国の経済は、海外情勢の不確実性や、金融市場の変動の影響はあるものの、大手企業をはじめとする企業業績の改善や、設備投資の緩やかな増加を背景に、個人消費の持ち直しや雇用環境の改善の動きが続きました。こうした状況の中で、当社の主要な事業における建設関連業界におきましては、都市部を中心とした開発など、民間建設投資や、公共建設投資は底堅く推移しました。しかしながら、労働者不足の常態化や、材料価格が上昇傾向になるなど、取り巻く経営環境は厳しい状況が続きました。その結果、売上高は74億19百万円(前年同期比2.3%増)となりました。製品分類別における状況は次のとおりであります。

鋳鉄器材は、街路関連工事がやや低調な状況から、外構・街路関連製品が伸びを欠きましたことと、雨水排水・防水関連製品が減少したことから、18億90百万円(同0.1%減)となりました。

スチール機材は、設備、街路工事関連の低下から、外構・街路関連製品が低調な状況が続きましたことから、12億97百万円(同5.1%減)となりました。

製作金物は、外構工事が減少したことから、外構・街路関連製品が減少しましたが、建築工事の改

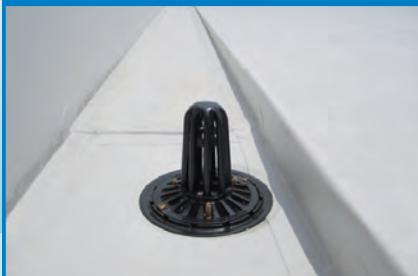
善から、建築金物が堅調に推移したことと、防災関連製品の納入が、工事の進捗とともに回復傾向となりましたことから、36億17百万円(同2.8%増)となりました。

その他は、公共投資の持ち直しから、土木需要が底堅く推移しましたことと、建機、機械向け製品も、増加傾向が続きましたことから、6億14百万円(同29.0%増)となりました。

利益につきましては、材料価格が上昇傾向になりましたことと、販売価格が依然として厳しい競合環境のもとで、コスト環境の改善が進まない状況が続きました。その結果、売上総利益は23億3百万円(同0.3%減)となりました。また、販売費及び一般管理費につきましては、継続的に試験研究関連など注力していることもあり増加傾向になりました。その結果、営業利益は2億62百万円(同12.3%減)となりました。営業外収支につきましては、低金利の環境が更に進みましたことから、収益の減少となりましたが、販売関係費用の軽減もあり、改善しました。その結果、経常利益は2億27百万円(同8.7%減)となり、当期純利益は1億44百万円(同8.3%減)となりました。

# 快適な生活環境の創造に向けて

雨水排水・防水関連製品



ルーフドレン

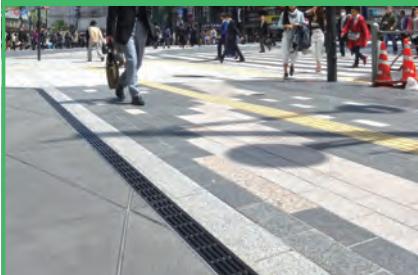
建築金物



フローアーハッチ



外構・街路関連製品



U字溝用スリットみぞ蓋

外構・街路関連製品



ステンレス製グレーチング

外構・街路関連製品



スチール製グレーチング

# カネソウは歩みつづけます。

防災関連製品



EXジョイント免震構造建築用



建築金物



クリーンピット

外構・街路関連製品



車止め

外構・街路関連製品



マンホール鉄蓋

# 製品分類別の状況

## 鋳鉄器材

売上高 **1,890**百万円

前年同期比 **0.1**%減



- 主な製品
- ルーフドレン
- マンホール鉄蓋
- 車止め

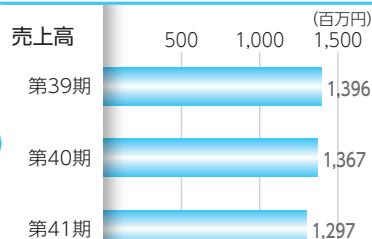


ルーフドレン

## スチール機材

売上高 **1,297**百万円

前年同期比 **5.1**%減



- 主な製品
- スチール製グレーチング
- カラーグレーチング



スチール製グレーチング

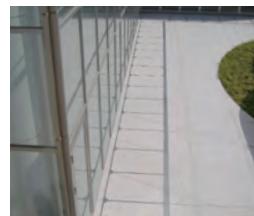
## 製作金物

売上高 **3,617**百万円

前年同期比 **2.8**%増



- 主な製品
- ステンレス製グレーチング
- クリーンピット
- フローアハッチ
- EXジョイント免震構造建築用
- U字溝用スリットみぞ蓋
- カラー舗装用みぞ蓋
- たてとい

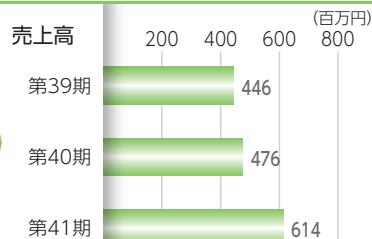


EXジョイント

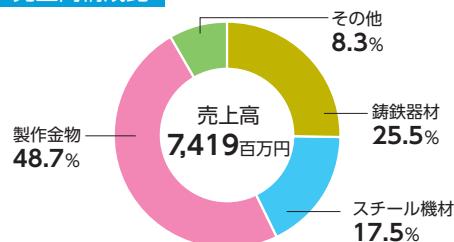
## その他

売上高 **614**百万円

前年同期比 **29.0**%増



### 売上高構成比



(注) 第40期より、製品の一部を鋳鉄器材から製作金物に変更いたしました。  
第39期の製品分類別の売上高は、第40期の分類に従って組み替えて表示しております。

## 新製品及び設備のご紹介



### EXジョイント免震構造建築用

可動時に開口が生じない、より安全な壁部（内壁）、床部（屋内床）免震エキスパンションジョイントです。想定最大許容残留変位50mmに対応し、一般社団法人日本免震構造協会が定める「免震エキスパンションジョイントガイドライン」の性能指標A種に該当します。



### EXジョイント免震構造建築用 振動台試験装置導入

性能指標A種の確認を目的とし、3次元振動台と2次元振動台を導入しています。免震製品の特性上必要になる開発段階での挙動確認や、振動試験から得た知見が製品開発に活かされています。また個別案件への対応力を高めるとともに、更なる高機能・高性能製品の作り込みに注力しています。



### ステンレス製ノンスリップタイプピット蓋 (クリーンピット)

給食センターや商業施設の厨房、浴室などの“排水まわり”に使用するステンレス製細目ノンスリップタイプのグレーチングタイプピット蓋です。メインバーにステンレス製Tバーを採用し、独自の組立構造で、外観と、コストパフォーマンスに優れます。

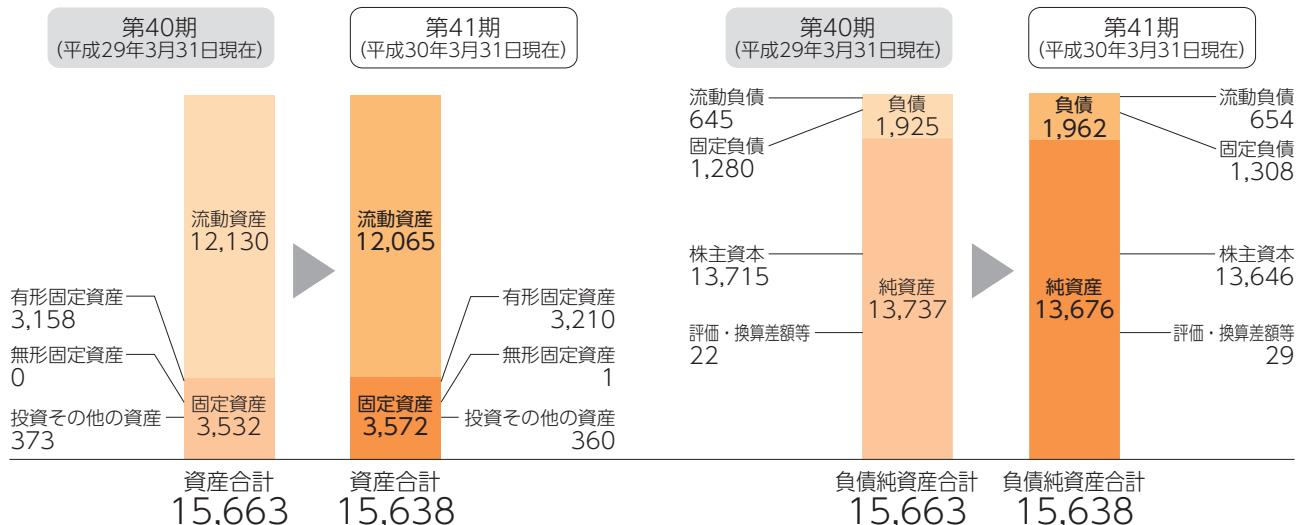


### ステンレス製グレーチング プロジェクション溶接機増設

溶接部位を密着させて電極で挟み、溶融接着する抵抗溶接を使った、プロジェクション溶接機を増設しました。従来機から溶接スピードをアップし、自動溶接により、少人化につなげることができます。

## 貸借対照表の概要

(百万円)



### ■財政状態について

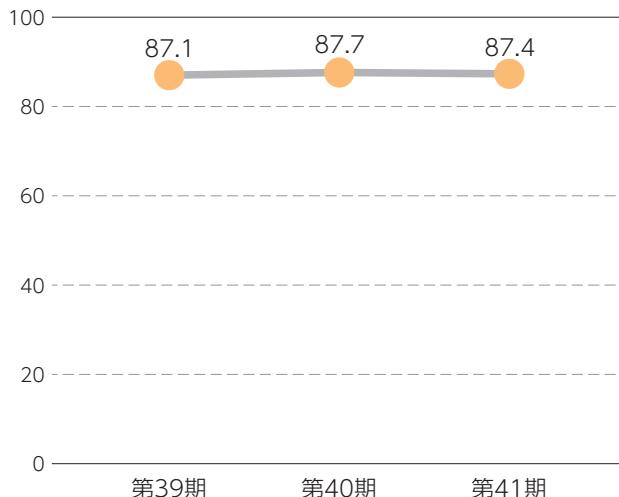
資産総額は156億38百万円となり、前事業年度末に比べ24百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が8億72百万円減少しましたが、有価証券が7億円、たな卸資産が96百万円、有形固定資産が51百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

負債総額は19億62百万円となり、前事業年度末に比べ36百万円増加いたしました。これは主に、流動負債が9百万円、固定負債が27百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は136億76百万円となり、前事業年度末に比べ61百万円減少いたしました。これは利益剰余金について、当期純利益の計上が1億44百万円ありましたが、剰余金の配当が2億13百万円あったこと等によるものであります。

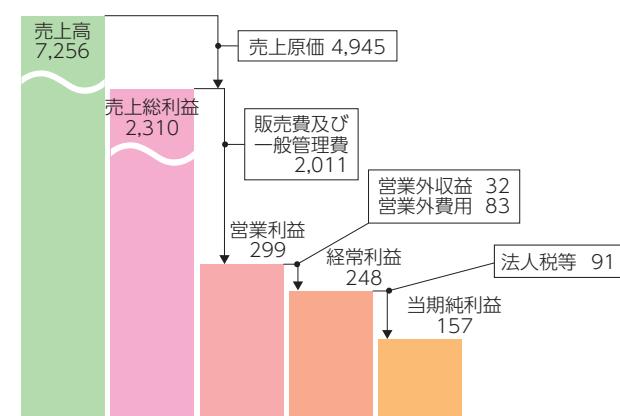
### 自己資本比率の推移

(%)

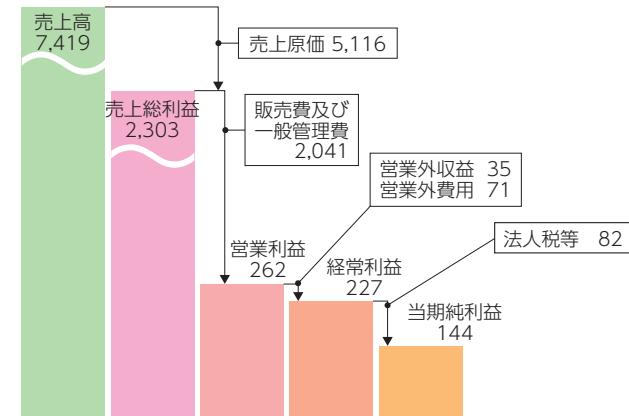


## 損益計算書の概要

(百万円)



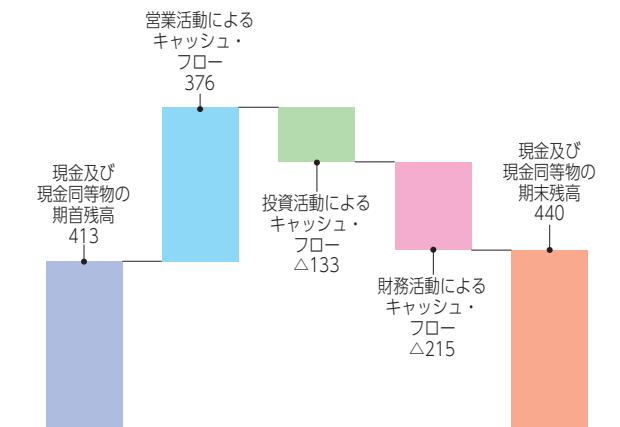
第40期  
(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)



第41期  
(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

## キャッシュ・フロー計算書の概要

(百万円)



第41期  
(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

### ■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、3億76百万円(前期比70百万円の収入減)となりました。

これは主に、貸倒引当金の減少が64百万円、たな卸資産の増加が96百万円、法人税等の支払額が79百万円ありましたが、税引前当期純利益の計上が2億27百万円、減価償却費の計上が2億83百万円、破産更生債権等の減少が64百万円あったこと等によるものであります。

### ■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果支出した資金は、1億33百万円(前期比4億50百万円の支出減)となりました。

これは主に、定期預金の払戻による収入が93億円ありましたが、定期預金の預入による支出が84億円、有価証券の取得による支出が7億円、有形固定資産の取得による支出が3億31百万円あったこと等によるものであります。

### ■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果支出した資金は、2億15百万円(前期比0百万円の支出減)となりました。

これは主に、配当金の支払が2億13百万円あったこと等によるものであります。

## 当社の概要

商号	カネソウ株式会社 (KANESO Co.,LTD.)
本社所在地	三重県三重郡朝日町大字縄生81番地
電話番号	(059) 377-4747 (代表)
設立	昭和54年10月23日
資本金	1,820,000,000円
事業の内容	建設用金属製品の製造・販売
従業員数	240名

## 役員

(平成30年6月27日現在)

代表取締役名誉会長	小林 昭三
代表取締役会長	小林 正和
代表取締役社長	近藤 健治
専務取締役	南川 智之
常務取締役	林 正嗣
常務取締役	福田 昭人
常務取締役	清水 竜生
常務取締役	豊田 悟志
取締役	石川 文和
取締役	伊藤 博幸
取締役(監査等委員)	野呂 宏
取締役(監査等委員)	木原 昌弥
取締役(監査等委員)	山田 康之

(注) 取締役(監査等委員) 木原昌弥及び山田康之の両氏は、社外取締役であります。

## 事業所



① 本 朝日工場	〒510-8101 三重県三重郡朝日町大字縄生81番地
② 東京支店	〒105-0004 東京都港区新橋六丁目9番5号 JBビルディング3F
③ 大阪営業所	〒540-0026 大阪府大阪市中央区内本町一丁目1番6号 内本町B&Mビル6F
④ 仙台営業所	〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町一丁目1番8号 第3青葉ビル9F
⑤ 福岡営業所	〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前四丁目8番15号 博多鳳城ビル6F

# 株式情報

## 株式の状況

発行可能株式総数	4,000,000株
発行済株式総数(自己株式を除く)	1,423,710株
株主数	585名
単元株式数	100株

## 大株主

株主名	持株数	持株比率
	株	%
小林鑄造有限会社	375,000	26.33
小林正和	315,000	22.12
小林昭三	100,000	7.02
小林誠子	100,000	7.02
小林裕和	100,000	7.02
榊原静枝	45,000	3.16
神谷布左子	45,000	3.16
日本証券金融株式会社	24,800	1.74
株式会社三菱東京UFJ銀行	15,600	1.09
株式会社百五銀行	15,600	1.09

(注) 上記のほか、当社保有の自己株式16,290株があります。

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月下旬

### 基準日

定時株主総会・期末配当 毎年3月31日

中間配当 毎年9月30日

公告掲載新聞 日本経済新聞

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒460-8685  
名古屋市中区栄三丁目15番33号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

特別口座の  
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先  
(電話照会先) 〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
電話:0120-782-031(フリーダイヤル)  
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の  
本店および全国各支店で行っております。

## 株式に関する手続き

お手続き	お問い合わせ先	
	証券会社に口座を お持ちの場合	特別口座の場合
●株主名簿記載事項の変更 商号・氏名、住所、代理人選任、変更など	口座を開設した証券会社に お問い合わせください。	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話:0120-782-031(フリーダイヤル)
●単元未満株式の買取請求 その他お手続きに関する事項		
●未払配当金	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話:0120-782-031(フリーダイヤル)	

快適をかたちに  
**KANESO**

### 当社ホームページのご案内

企業情報や製品情報を掲載しております。



<http://www.kaneso.co.jp>

カネソウ

検索



環境に配慮し、植物油インキを使用しています。